

### 北電技術コンサルタント株式会社

通信・建築本部 HGC建築設計事務所

西田 秀幸 様、城戸 杏里 様

北陸電力グループの北電技術コンサルタント株式会社様は、土木・建築の総合コンサルタントです。HGC建築設計事務所所長の西田秀幸様、DRA-CAD歴2年ながらオーバーレイやレイアウト機能などを活用されている城戸杏里様にお話を伺いました。



## オーバーレイ機能で作業の効率化 互換性を評価されたDRA-CADの実力

北陸電力のグループ会社である北電技術コンサルタント株式会社は、電力関係業務に加え、官公庁からの調査・設計業務や携帯電話の鉄塔・基地局設置における設計・監理業務などの分野において、コンサルタント業務を営まれています。今回お話を伺った通信・建築本部 HGC建築設計事務所では、電力会社の関連施設や民間の介護施設、小中学校の改修や耐震補強などを扱い、設計から現場監理まで行っています。

### 計算書や構造図にも活用できるDRA-CADを採用

「DRA-CADを導入したのは約20年前になります。当時、弊社では構造計算プログラムとして、日本電電公社のDEMOSを使用していました。しかし、使用料金が高く、案件に対し何回も計算できない状況だったため、市販ソフトを採用することになりました。いくつかのソフトを比較検討した結果、料金的にも手頃で使いやすい構造システムの一貫構造計算ソフト『BUS』に決定したと聞いています。その後、計算書や構造図にも活用できることが決め手となり、当時構造システムで販売されていた『DRA-CAD』を当社の正式な意匠CADとして採用しました。関連事務所との情報交換を行いながらバージョンアップを重ね、現在は通信・建築本部の設計担当者全員がDRA-CADを使用しています。

おかげさまで会社の経営状況が良好なこともあり、DRA-CADアソシエイト会員にも登録し、常に最新バージョン対応をしています。ただ、今後は厳しい情勢変化も予想されますので、極力、安価でユーザーが長く使えるサービス対応を期待しています。」(西田様)

### 入社して渡されたDRA-CAD

「私は入社2年目で、DRA-CAD歴もまだ2年です。CADはAutoCADから入り、図面を描くためにJw\_cadやVectorworksを使用したことはありましたが、DRA-CADに触れたのは入社してからでした。

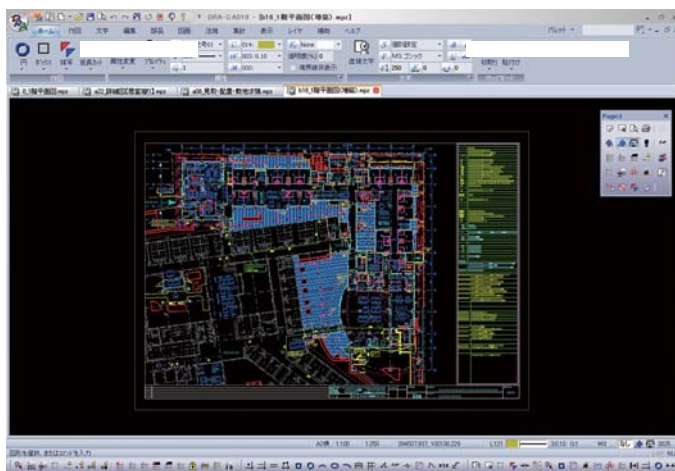
入社して間もなく実務に携わることができましたが、操作に慣れないまま作図し始めたので、最初に、線を引くコマンドを必死に探した

ことを覚えています。社内にあった『こんなに簡単！DRA-CAD8』を見たり、こまめにヘルプを参照したりして、少しずつ習得してきました。」(城戸様)

### 一番の魅力は、高い互換性

「作図はDRA-CADですが、AutoCADやJw\_cadなども納品時の確認用に使用しています。DRA-CADの互換性の高さは非常にいいですね。北陸電力関連の物件ですと、レイヤの分け方や文字サイズなどおまかなルールが決まっていて、スムーズに業務が行われています。民間の物件では、担当者に任されている部分も多く、作業しやすいレイヤ分けのルールを作っている最中です。

最近では民間物件も増えてきましたので、設計だけでなく、プロポーザル業務も多く行っています。プレゼン資料作成の際は、Adobe社のIllustratorも使用し、DXF形式でDRA-CADのデータを渡しています。今後はAdobeソフトとの連携にも期待したいですね。枠の縁をぼかしたり、柔らかい表現も可能になれば、DRA-CAD1本ですべてがこなせて、より便利になるのではと期待しています。」(城戸様)



オーバーレイを活用して整合性の確保と作業効率をアップ



現在工事中の特別養護老人ホーム

### 業務の円滑化に欠かせない、オーバーレイ機能

「互換性の高さは社内でも定評がありますが、個人的には、オーバーレイ機能が充実していると感じています。私は元々AutoCADを使っていたこともあり、同じような感覚ですぐに活用するようになりました。

現在、3,000㎡クラスの特別養護老人ホームを担当していますが、このような大きい物件の場合、基本となる平面図は複数の図面に使用します。オーバーレイでは、平面図のレイヤの表示や、色、縮尺などを変えて参照できるので、効率よく図面を描きあげることが可能です。ポイントは、平面図を作る時に適切にレイヤを分けることです。慣れれば非常に使いやすく、作業効率が大幅に上がりますので、私にとっては欠かせない機能です。」(城戸様)

作業が、あらかじめストレッチパーツにパーツを登録しておくだけで、簡単に寸法を合わせて配置できるようになりました。パーツを社内で共有すれば、さらに活用できると思います。

他にも、さまざまな法規計算が行えたり、面積表を簡単に作成できたり、建具の数を集計できたりと、毎日が嬉しい発見の連続です。

「今後も、積極的にDRA-CADの新機能を活用していきたいと思えます。」(城戸様)

右も左もわからない状態から2年で、オーバーレイなどを使いこなすまでになられたとのこと。業務にも生かしていただいているという嬉しいお話でした。新発売の「こんなに簡単！DRA-CAD11」では活用テクニックも紹介しています。こちらもぜひご参考にしてください。

### 嬉しい発見の連続です

「日々の業務に追われながら新しいソフトを習得していくことは大変ですが、便利な機能に気づくと嬉しいものです。

たとえば最近では、DRA-CAD11のストレッチパーツが実施図面を描く上で非常にいいツールだなと感じました。建具の表現は社内ですべて決まっています。過去のデータをコピーしてストレッチなどをしていた

#### 北電技術コンサルタント株式会社

設立：平成13年7月1日

代表者：松田 範幸

所在地：富山県富山市牛島町13番15号

URL：http://www.hg-c.co.jp/

(2013年2月取材)

### ■ DRA-CAD機能紹介：オーバーレイ機能

#### 串刺し編集で一括して編集作業も可能、繰り返し作業によるミスを防止

オーバーレイ機能は、他の図面を参照して表示したり、印刷できる機能です。参照する図面の位置や範囲、回転角度の設定に加えて、表示するレイヤの設定も可能です。たとえば、平面図を参照して建具記号を配置してキープランを作成したり、立面図や断面図のそばに平面図を参照表示して位置合わせをして整合性の確認ができます。また、オーバーレイしている複数の図面を一度に編集できる「串刺し編集」もあります。同じ位置にある図形や文字を一度に修正できます。マンションなどで別の階の図面を重ねて、一度に修正するときミスを防止します。

